

お客様各位

2021年11月15日
宮古新電力株式会社
代表取締役 添田 卓弘

冬季の節電へのご協力をお願い

国内の今冬の電力需給見通しは非常に逼迫しており、過去10年で最も厳しいものとなっております^{※1}。また世界的にみれば、コロナウィルス禍からの景気回復を受けての電力需要増により、LNG（液化天然ガス）や石炭等の発電用燃料の供給が不足し、各地で電力需給の逼迫や燃料価格の高騰が生じております。さらには、地球温暖化防止に向けてのカーボンニュートラル化の動きに即し、省エネルギーへの取組は一層重要になっています。

一方、本年11月5日の省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、「冬季の省エネルギーの取組について」が決定されました。この決定に基づき、11月から3月までの冬の省エネキャンペーンの期間において、各方面に省エネルギーの取組を呼びかけ、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーの取組をより一層推進することとしています。

これらの状況を踏まえ、万一の大規模停電等の状況をふせぐためにも、弊社は小売電気事業者として電力の安定供給に協力するため、弊社の電気をご契約いただいているお客さまに可能な範囲での節電をお願いさせていただき、電力需給改善へのご協力をお願い申し上げます。

厳冬期における節電のお願いとなり、誠に恐縮ではございますが、お客さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆可能な範囲での節電をお願いする期間 2021年12月1日（水）～2022年2月28日（月）

（節電の実施例）

- ・ 休憩時間など使用しない照明をこまめに消す。体育館等での照明の使い方を工夫する
- ・ エアコンの設定温度を工夫する（暖房の設定温度は20度）
- ・ 使用していない部屋の空調および照明は確実に停止する
- ・ 窓に断熱フィルムを貼る
- ・ 使用するパソコンは省エネ設定にし、長時間席を離れる場合にはモニターの電源を切る
- ・ 残業をできるだけ行わないようにする

以上

※1 資源エネルギー庁

<https://www.meti.go.jp/press/2021/11/20211105001/20211105001.html>

この冬季
コロナ禍でも
ひと工夫 

オフィスでも省エネに 自取り組みましょう

コロナ禍でのオフィスや車の中のできる、省エネへの具体的な取り組みをご紹介します。

テレワークなどで人が少ないオフィスのできる省エネ対策

OA機器 (PC, コピー機)



コピー機など、長時間使用しない場合を想定し、スタンバイモードに設定されているかを確認しましょう。

パソコンの「ディスプレイの電源を切る」や「PCをスリープ状態にする」の時間を短くしたり、画面の輝度を下げるなど、設定を確認しましょう。

暖房



昼間の日差しを取り入れたり、人がいないスペースの暖房を消したり、エアコンのフィルターをこまめに清掃するなど、暖房について工夫してみましょう。

また、ひざ掛けを使って過ごすなどのウォームビズを実践しましょう。

※感染症対策のために換気は行いましょう。

照明



不要な照明はこまめに消灯したり、人感センサーを活用した消灯や、思い切ってLEDに変えることも考えてみましょう。

給湯器



冬季は良くお湯が使われます。給湯器の温度を下げて、洗い物をしたり、給湯器を買い換える場合には、省エネタイプのものも検討しましょう。

温水 洗浄便座



使用状況を確認し、温水洗浄便座の温度設定を見直しましょう。また、長時間使用しないときは温水や便座の温度設定を「切」にしましょう。

移動の際の自動車でもできる省エネ対策



自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践してみましょう。(ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、ムダなアイドリングはしない等)

「省エネ最適化診断」や「ビル/工場の省エネルギーガイドブック2021」などを活用して省エネや節電等に関する取組を検討してみましょう。

 shindan-net 

関連情報はこちら




省エネポータルサイト
「無理のない省エネ節約」
(資源エネルギー庁)



ビルの省エネルギーガイドブック2021
工場の省エネルギーガイドブック2021
(一般財団法人 省エネルギーセンター)

お問い合わせ

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課
 03-3501-9726

 経済産業省
資源エネルギー庁

 環境省